

# 寺報 佛心

第64号

【発行所】

日輪山 長久寺

岩国市美和町生見八一七  
電話 〇八二七（九六）〇九八二  
FAX 〇八二七（九六）〇九八二  
発行人 三上宗順

## ご案内 春季大法要

三月二十三日(月曜日)

午後二時から

各家先祖塔婆供養

説教

巡教教師 佐賀県西浦郡

桂雲寺(南禅寺派)

住職 夏秋尚孝師

春彼岸。ご先祖のご供養と

ともにお互い仏道精進の機会

と心得ましょう。お子さん達

もお誘いしてお参り下さい。

法要終了後、お参りの方に

お弁当を差し上げます。トン

汁も用意します。皆さん

一緒にお召上がり下さい。

塔婆供養の申込について

塔婆供養の申し込みは三月

二十三日の当日までに、各班の役員世話人さん又は長久寺までお申し出ください。

お彼岸のお勤めについて

左記の日程で檀徒各家に、

お彼岸の供養にお参りします。

戸が開けば、お留守でもお勤

めをさせて頂きます。ご都合の

悪い方はご連絡ください。

八日終日 地区外

十三日午前 友重・平原

野登路班1班

十四日終日 地区外

午前 野登路班2班

十五日午前 市原1班

十六日午前 市原2班

午前 国木原1班

十七日午前 国木原2班

戒山和尚百年忌法要のご案内

三上戒山和尚は柳井市伊陸

の出身で、当山二十三世。明治

の終りに長久寺は火災で全焼し

ましたが、地域檀信徒のご協力

で再興しております。

今年百年忌に当たり、七教区

内の和尚様方にご出頭頂き、広

く檀信徒の皆さんと報恩感謝の

法要を執り行いたいと存じます。

日時 令和八年四月二五日

午前十一時より、

場所 長久寺本堂

ご多忙の折とは存じますが、ご

焼香頂きます様ご案内致します。

希望の方は、準備の都合上電話

で結構ですので、ご連絡ください。

尚、前寺庭三上ミスイエの七回

忌も併修致します。

## 幸せになる方法 その⑩

どうも長寿と幸福の秘訣は「いきがい」らしいです。「朝、目ざめるための理由が生きがい」と、

「I-K-I-G-A-I」(エクトル・ガルシア著)にあります。

生きがいとは、好きな事・得意な事・社会的に有意義な事・報酬が得られる事の4つの条件

が混ざり合ったものらしいです

が、余り深く考えない方が、生

きがいは見つけ易いと思います。

何となく気になってやっている

時間を忘れ、ふと気付くと楽

しんでる。これがいなのでしょう。

例えば畑の草取り。昨日失

敗したことも明日の不安もと

りあえず脇に置き、草一本一

本、抜く瞬間瞬間を楽しむ。

ふと気が付けば草の山、オーツ

と達成感。「明日もこの続きを

しよう」と布団に入る。これが

生きがいであり幸福と、ガルシ

アさんはおっしゃるのでしよう。

スズメの涙?…のハナシ

豪雪での選挙は、何のかんの言っても日本国中が一丸となった2週間でした。開催のミラノオリンピックも忘れるほど…。

選挙結果も気にはなりますが、雪が降るとワクワクし、この歳になっても表に出たくなります。一面真っ白な世界は、日常では見られない、まさに幻想です。

2月9日の朝6時30分、お勤めを終えて外に出ると、凛と澄み切った冷たさに、身も縮みます。15cmは優にありましたね。

雪をかぶった門は、昇り始めた朝日を受けてほのかに明かり、小高い杉藪の西の空には、下弦の月がこうこうと輝いています。心洗われる絶景でした。

純白な雪は、雑音を吸収し一帯を静寂に包みます。心を落ち着かせストレスを軽減する効果があるとされています。

誰も踏んでいない道を歩くの

も遊び心をくすぐりますし、雪だるまを作ったり雪合戦をしたり、雪でしかできない遊びもあります。みーんな天からの贈り物なのですね。さらに「雪は豊年の貢ぎもの」ともいわれています。

寒さで害虫の卵などを死滅させ、山の雪解け水が田圃を潤し、天然ミネラルなどが含まれ、美味しいお米ができるそうです。(だったらいいなー、農作業が楽しくなりそうです)

稲穂が金色に実ると、あちこちから集まって来るのがスズメ。昨年収穫の前でした。お寺の前の田圃のあぜ道に立つと、驚いたスズメ20〜30羽が一斉に飛び立ちました。そして上下左右に巡回したり、急に180度の方角転換をしたりします。一群は一糸乱れず編隊を組んでいるのです。

いきなりですが、毎年3万人もの参加が有る東京マラソン。号

砲一発、一斉スタートは圧巻ですね。しかしそこで起きる選手同士の接触や転倒は結構あるらしいです。スタートからゴールまでの接触・転倒での救急搬送は、100件から150件。頭を打つての死亡例もあるらしいのです。

スズメは私の気配に命の危機を感じ、我先に稲穂から飛び立ったのでしようが、隣同士がぶつかたり、おいてきぼりになるスズメはいません。スズメはあんなに激しい動きをするのに、何故ぶつからないのでしょうか。

ここで2500年前のお釈迦様のお言葉(華嚴経)です。「あらゆる生き物は、みな仏と同じ智慧と徳を備えている。それなのにただ妄想と執着が有るために、そのことに気付かないのだ」と。ひよつとすると、スズメは仏の智慧と徳を備えているのでしょうか。ただひたすらに走るマラソン。過酷で純真なスポーツとは言え

競争です。勝利の榮譽を得たい、完走の満足を得たい、人を押しつけてでも我先にというのは、煩惱執着の現れでしょう。

しかしながらこの人間の執着煩惱が、今日のIT文明を勝ち取ったのですよね。

でもこの文明、はたして人間を幸せにしてくれるのでしょうか。マダマダ足りない改革を歩を進め！サテサテ人間は何処に向おうとしているのでしょうか。

蛇足ながら…一羽のスズメが一日200粒食べるとすれば、30羽なら6000粒。稲穂一本に茶碗1杯だから私の一食分。

ある国は、稲穂を食い荒らすスズメに怒って駆除したら、何と害虫が増えて困ったらしいです。

害と益、やっぱり自然はバランスがいい。でも約1ヶ月毎日茶碗1杯はキツイ…だって私の年金、スズメの涙なんですから…。